

あいち 食品工業技術センターニュース

2013年4月号

- 今月の内容 ● 新任あいさつ
● 平成25年度 研究テーマ
● 平成25年度 新体制および人事異動
● 依頼試験等の手数料のご案内

新任のごあいさつ

センター長 加納 廣和



4月1日付けで食品工業技術センター長に就任しました加納廣和です。新任にあたりご挨拶を申し上げます。

当センターは、あいち産業科学技術総合センター(本部・豊田市)の食品工業部門として、地域企業に対する技術相談・指導、依頼分析、研究業務等の技術支援を実施し、産業振興を図ることを使命としています。

このような支援体制のなか、平成24年度から本部に設置した高度な計測分析機器の本格運用が始まりました。本部は愛・地球博跡地に造成した「知の拠点あいち」に立地し、ナノテクノロジー分野に対応できる顕微鏡観察装置、表面分析装置、化学分析装置(LC-MS、MALDI-TOFMS)等を整備しています。

さらに、この3月には本部に隣接して「あいちシンクロトロン光センター」(運営:公益財団法人科学技術交流財団)が開所しました。SPring-8で知られるシンクロトロン光利用施設として国内8番目の施設であり、産業分野での利用に重点を置いたものです。

これらの施設は依頼分析などで企業の方々に利用いただけますので、施設のコーディネータなど

に是非ともご相談ください。

ご承知のとおり、食料品製造業は大きな経営環境の変化にさらされようとしています。現下の円安による輸入原材料価格の高騰のなか、交渉参加が表明されたTPPによる関税撤廃の影響は不透明ながらも、食料品製造業に構造変化をもたらすものとなるかも知れません。また、今月には食品表示ルールを統一する「食品表示法案」が閣議決定され、2年後の施行を目指して栄養表示の義務化など具体的対応の検討が始まります。

当センターは、昭和31年に愛知県食品工業試験所として設立され、関係業界の支援をいただきながら運営して参りました。その間、各企業とは栄養表示に関する依頼試験や製造工程に係わる技術相談などで、業界団体とは業界の問題解決に協力して取り組んでおります。どうか引き続き当センターに対するご支援・ご利用を賜りますようお願い申し上げます。

私は、技術職として行政事務に係わる機会が多く、当センターでは僅かに5年間の勤務経験ではありますが、地域企業の技術支援を担う立場から事業運営を行って参りますので、よろしく願いいたします。